



Cメジャースケールとしてドレミファソラシドを使っていた雰囲気と  
Aマイナーのキーで使っている雰囲気の違いを意識しながら練習して下さい。

こういう暗い雰囲気の中では、チョーキングのタイミングや入れ方一つで、  
色々な『泣きのギター』を表現出来ます。

2弦15フレットの『ダブルトーンでのチョーキング』が要チェックポイントです。

このとき1弦15フレットはチョーキングしていません、2弦15フレットだけをチョーキングしています。

●バージョン2

♩ = 130

Gtr I

20 20

Am7

Am7

20-15 15 15 15-17 17 17 17-12 12 12 12-15 15 15 15-10 10 10 10-12 12 12 10-7 7 7 7-8

sl. sl. sl. sl. sl. sl. sl. sl.

D7+9

D7+9

7 7 7 7 7 7 7-12 12 12 12 12 10 10 10 10

8 8 8 8 8 8 8-13 13 13 13 13 12 12 12 12

sl. sl.

Am7

T 8 8 8 8 8 8 8 10 10 10 10

A 5 5 5 5 5 5 5 7 7 7 7

B *sl.* *sl.*

*sl.* *sl.*

D7+9

T 7 7 7 5 5 7 5 7 5 7 5 5 7 5 5 7 5 5 7 5 4

A 7 7 7 5 5 7 5 7 5 7 5 5 7 5 5 7 5 5 7 5 4

B P H P P H H H H H P *sl.*

Am7

T

A 5

B

ちょっとファンキーな雰囲気少し変わったフレーズを入れています。  
 こういう音の使い方ももちろんアリなので、たかがドレミファ〜と思わず、  
 無限大にパターンを作っていける。という参考にして欲しいと思います。

8小節目のポリリズムのフレーズは慣れるまでとことん練習しましょう。色んな曲調に使えます。

このエクササイズだけは、あえてハズした音を1つだけ入れています。  
 ここまでやってきたあなたなら、すぐに分かります(ビデオで解説をしています。)

スケール内の音をしっかり認識していればいるほど『狙ってあえてハズす』という技に  
 磨きをかけていく事が出来るし、『ハズし技』を面白いように使う事が出来るようになるので  
 今までお伝えしてきた事も含めて、焦らずにコツコツ続けてみて下さい。

あなたの努力次第で、もっともっと楽しくギターを弾けるようになっていきます♪  
頑張りましょう！

**エレキ**